

連絡網にて会員各位（各グループ企業）へ配付、FAX方お願いいたします。

発信番号：DNSC - 0268 発信日：2003年4月3日 原稿枚数： 1

会員各位（総経理・所長、駐在員の皆様）

発信：大連日本商工クラブ

領事館からのお知らせ

「重症急性呼吸器症候群（SARS）」の流行について、在瀋陽日本国総領事館大連出張駐在官事務所から下記のとおりご連絡がありましたのでお知らせします。

記

お知らせ

2003年4月3日
在瀋陽日本国総領事館
大連出張（駐）事務所

「重症急性呼吸器症候群（SARS）」の流行について

大連市衛生局によれば、4月2日現在、本件疾患が大連で発生したとの報告には接していないと
のことですが、日常生活上、或いは当該地域へ旅行ないし出張される際には、次のような情報を参考に十分
ご用心願います。

1. 流行地域

主としてベトナムのハノイ、香港、中国広東省、山西省、シンガポール、カナダ等

2. 感染状況

- (1) WHO発表によれば、3月27日現在、中国本土では広東省、北京市、山西省が伝播確認地域となっており、
中国全土における累積患者確認数は計806名、死亡者34名とのことです。
- (2) 3月26日現在、中国広東省における同累積患者数は792名、死亡者31名。
また、山西省及び香港から北京市内に搬送されてきた患者8名のうち3名が死亡。
- (3) なお、日本人が感染ないし死亡したとの情報は現在のところありません。

3. 症状

本疾患の特徴としては高熱（38度以上）、咳、呼吸困難、筋肉痛、頭痛、咽頭痛等の症状が見られること
が多いようです。（潜伏期間は2～7日間）。なお、症例の多くは、治療により6～7日後には改善に向かって
治癒できるとのことです。疑わしい症状を有する方は、早急に医療機関にご相談されることをお勧めします。

4. 感染経路及び予防対策

- (1) この病気は、極めて近距離の飛沫感染により感染することがわかってきており、これまでの感染発症者の
家族、あるいは治療に当たった医療関係者が多く、インフルエンザのように広範囲に空気感染する可能性
は低いといわれています。
- (2) 本疾患の原因物質は確定されていませんが、いずれにせよ、飛沫感染により感染します。このため、飛沫
感染に対する一般的な予防方法が大切です。つまり、頻繁な手洗い、うがいの励行、マスクを使用する場
合には清潔なマスクを使用、人ごみを避ける等心がけてください。

5. その他

- (1) 4月2日、WHOは香港及び中国広東省への渡航を見合わすよう勧告を發しました。
なお、「重症急性呼吸器症候群（SARS）」に関する詳しい情報は、次のところへご照会下さい。
- (2) WHO (<http://www.who.int/csr/don/en/>)
又は (<http://www.who.int/mediacentre/releases/2003/en/>)
厚生労働省(<http://www.mhlw.go.jp/topics/2003/03/tp0318-1.html>)
海外安全ホームページ(<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>) 等